

2025（令和7）年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和7年7月24日（金）午後3時00分～
- 会 場 阿寒湖まりむ館
- 参加者 10人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

- （1）釧路都心部まちづくり計画について
- （2）釧路市自然と太陽光発電施設の調和に関する条例の制定について
- （3）釧路市の財政状況及び事務事業の見直しについて
- （4）水道料金の改定について
- （5）阿寒湖温泉地区の取組について

●質疑応答

【参加者A】

2年前にも申し上げましたが、チップ川についてです。世間ではヒメマスを指して「チップ」という間違っただイヌ語が使われています。チップは舟という意味で、魚のことは「チェップ」と言うのですが、この2つの言葉が混ざってヒメマスのことをチップと言われています。このことは東京大学でアイヌ文化を研究されていた先生が伝えており、「倭人は舟を食うのか」と皮肉っていました。阿寒湖にはチップ川という川があります。是非正式なアイヌ語でチェップ川と表現されることを希望します。

【都市整備部長】

ご意見ありがとうございます。チップ川とアイヌ語のチェップについて、2年前にもお話をいただいたことは認識しています。その後、関係各所に聞き取りを行っているところではありますが、まだ川の名称変更ですとかそういった段階には至っていません。今後また、それぞれの関係者とも意見交換を進めさせていただきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

【市長】

「チェップ川」にしたいということで、もしかしたらチップかチェップかにこだわっている人は誰もいないかもしれないですけども、面白いと思います。変更が可能かどうかも含め、引き続き協議を進めていきます。

【参加者B】

鶴間市長は市長になられる前から環境問題に関心を寄せられていて、市長になってからはノーモアメガソーラー宣言をされて、条例化に向けても取り組まれているというのは本当に素晴らしいことだと思っています。

阿寒湖温泉もこの先ずっと多くの人に愛される素晴らしい温泉地であり続けるためには、この広大な自然を守っていくことが大事です。この阿寒湖には火山性の特殊な自然を含む貴重な自然がありますので、ぜひ阿寒湖地域の広大な森林と施設をしっかりと守っていただくという方向でお考えいただくことが大事だと思っています。

その中でも、先ほど説明があったマリモについてです。先日水草除去された後のマリモを見る機会がありました。もう本当に酷い状況で、これが綺麗なマリモがあった区域かと愕然とし、このまま放っておくと大変なことになってしまうと思い、大変心配しています。一度、市長に現状を見ていただくことが今後のために必要なのではないかと考えています。マリモは言うまでもなく国の重要文化財に指定されている大切な資源ですので、これを消滅させるようなことがあれば、その責任は非常に大きいと思います。

今、市役所の窓口は「マリモ研究室」という名前ですが、これはマリモ研究室ではなく、マリモを保全するというあり方を前面に出した組織体制・行動にならなくてはいけないと思います。研究ではなく保全していくということを第一に考えていただく必要があります。

来年度以降は、今年の水草除去の結果を見ながら対策を打つということですが、まずは今できることを最大限しっかりと取り組むことが第一だと思います。マリモの核心地域に水草がもうすごい状況で、これを放っておくということはありませんので、来年度以降もぜひ予算をつけていただいて、対策を講じていただきたいと思います。もしもマリモが駄目になったときの責任は非常に大きいだろうと思います。

【生涯学習部長】

「阿寒湖のマリモ保全推進委員会」の時に新井田理事長ともこの話をさせていただきましたので、地域の皆様の危機感は私も十分に知っています。阿寒湖の世界で唯一の大型球状マリモを何とか守っていかなければならないというのは、国民の共通認識だと感じています。

今年度は市の予算3千万円を投入し、8千㎡の水草を刈り終わりました。調査にあたった若菜研究員から「状態は悪いが、まだ回復の余地がある。今後の対応が重要だ」との講評をいただきました。今年マリモ研究室の職員を1名増員し、

若菜研究員をサポートできる体制になっています。今秋には一定程度の調査結果がまとまると思っていますので、その結果を踏まえて来年度の更なる保全対策を確実に進めていかなければなりません。教育委員会としても、肝に銘じて進めてまいります。

【市長】

おっしゃるとおり、私も近々チュウルイ湾に見に行きたいと思っています。今進めている水草除去の状況についてです。普段だと少くくは補助金を投入してくれると思いますが、文化庁がなかなか乗ってきてくれないというのが現状です。阿寒湖のマリモは国の特別天然記念物ですから、これから国にしっかりと働きかけていきたいと思っています。

現時点では、水草除去が本当に根本的なマリモ保全対策なのかという点が見えていませんので、今回の結果をしっかりと経過観察しながら来年度に向けて対応していきたいと思いますが、実際には3千万円というのはかなりの金額ですから、市単独で続けるのはなかなか難しいところがあります。何とか、全国の皆さんからお金を集めるなどの形も考えながら、どうやったら我々が長くマリモを保護できるかということ、マリモ保護会の皆さんとも一緒に進めてまいります。

【参加者C】

来年度から宿泊税が始まると聞いています。緊縮財政で毎年の歳出予算額が段々と減っていくような印象を受けています。その中で、観光協会も旅館組合も一部補助金をもらっていますので、その補助金にも削減の手が入るかどうかを心配しています。今後、新しいことはなるべくしないという風になっていくのでしょうか。水道料金も高くなってきていて、ますます経費が嵩みますので、阿寒湖温泉地区としては、何とかお客さんを呼ぶための力添えをお願いしていきたいなと思っています。

【財政部長】

たしかに今、歳出に比べて歳入の伸びが少ないということも、市内では今までの枠組みにとらわれず聖域を設けずに見直しを進めていくということを検討しています。宿泊税については元々目的が決まっているものですので、例えば観光地の磨き上げ等の観光振興策などに最大限活用していくということで進めてまいります。

【観光振興担当部長】

今お話がありました宿泊税の関係につきまして、観光分野においては今後、使途について具体的な方策を練っていかねばならないと思っています。以前説明会でもお話ししているとは思いますが、大きな柱をもとに、これからそれぞれの阿寒湖温泉地区・市街地区・阿寒音別地区も含めて、それらをいわゆる基金に積み上げますので、宿泊された方にある程度対応できるような仕組み、それと地域にしっかり還元できる構図、さらにはDMO・DMC等々のいわゆる体制強化も含めた中で財源対策をしてまいりたいと思っています。

今現在はまだ具体的な事業の部分にはまだ至っていませんが、9月～12月等々において、一定程度皆様にお示しできる部分が出てくるのではないかなと見込んでいますので、少々お時間をいただければと思っています。

【市長】

宿泊税につきましては、先ほど説明があったとおりですけれども、これからしっかり使途について決めていくところです。市議会とのやりとりもあると思います。その上で金額も決まってくるので、新しいことについても、阿寒観光からもいろいろと情報をいただいて一緒に進めています。方向性としてはこの方向性を継続していきたいと思っています。また、いろいろなご提案もいただきながら進めていければと思いますので、何卒よろしくお願いします。

【参加者D】

マリモについては新井田理事長からもお話があって、その際に予算の関係の話も出ました。私がマリモ保護会の会長をやっていた時に、民間企業からトータルで2千5百万円くらいの補助金をもらいました。当時、その多くを引っ張ってきたのは若菜研究員です。今は観光協会でも、街なかで寄付金を募っていますので、市に全部おんぶに抱っこというつもりではありません。ぜひ何をやるか、どのくらいなのか、そういったコミュニケーションをとらせてもらいたいと思います。阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園を抱える市として、あるべき姿勢があると思いますし、先ほどの太陽光発電施設の件に関してはぜひもっと強い縛りのあるものを作りあげてほしいと思います。

ご存じだとは思いますが、阿寒湖温泉観光地として今もっと大きな課題を抱えています。私たちは阿寒湖での観光を滞在型にするために、飲食店の誘致を進めています。釣りをする方だと7～10日滞在というのも普通にあり、たまにはどこか外に食べに行ってくれと思うくらいです。しかし、今の阿寒湖温泉では、高齢化や後継者不足の問題などにより飲食店が少なくなっている状態で

す。今、私たちが進めている中では、札幌方面や道東各地に声をかけて、結構な数の出店希望者が出ています。そこで、最終的に阿寒湖に進出してこるための条件整備を、ぜひ市に協力してもらいたいと思っています。

それと同時に住宅問題もあります。今、民間企業で住宅地を展開したいと言っているところがありますので、ぜひその話を進めて決めてもらいたいと思っています。今はまだどのような形になるか分かりませんが、あと2年もしたら1泊15～20万円のホテルができるわけです。そのような中で現実的に動き始めれば、町の人達の意識も大分変わると考えています。

阿寒湖は条件が揃っていますから、夏場には世界中から魚釣りに来ています。冬にはスキーのインターハイを開催し、競技者の合宿や大会で大きな経済効果があります。そこで1つ検討していただきたいのは、阿寒の自然ガイドとスキーの指導者を養成するアカデミーです。今の小学校跡地を活用して、それができないかなと思っています。ガイドを育て、スキーの選手を育てる環境が阿寒湖には備わっています。

【菅野副市長】

飲食店についてのお話はすでに我々も聞いており、今後まさにマリオットホテルができて多くの外国人観光客や富裕層も来てくれるという中で、ホテルの従業員の皆さんも含めて外に出て買い物や飲食をしてもらうということが重要だということ我々も認識しています。現状のままで、お客さんがついてこなくなってしまうことがあってはいけませんので、先ほどお話が出た宿泊税の活用も含めて、いろいろなことを考えていかなければいけないと思います。

また、私はこれまでニセコの観光協会の事務局長とお話しする機会があり、その中でガイドの養成やスキー指導者の養成についてもお話を聞いたことがありますので、実際の他地域での事例を参考にしながら、観光面も含めて意見交換して仕組みづくりを検討していきたいと思っています。

【市長】

住宅問題につきましては、公営住宅では早急な対応ができないものですから、他の観光地の事例を探しながら、別の方法を今研究していますが、それでもマリオットホテルの開業が2年後となると辛いものがありますので、そこはご了承ください。

また、ガイド養成のお話ですけれども、阿寒湖小学校の跡地は配管等がもう駄目になっていて、建物としてはもう使えないと聞いています。新しくネイチャーセンターをつくるという構想もありますので、その構想の中で少しまりむ館とリンクしながらやれる部分もあるのではないかと思います。阿寒湖には教える

フィールドがいっぱいありますから、その必要性についてはおっしゃるとおりです。

【参加者D】

今、長野県にスキーのナショナルトレーニングセンターが1か所ありますが、その環境が悪くなってきており、ナショナルチームのコーチから「ぜひ阿寒湖でやってくれないか」との声があったので、私は是非受けたいなと思いました。ナショナルトレーニングセンターの指定を受けると、毎年最低5千万円の補助金が出ます。これが非常にスキー場の環境づくりにプラスになると思い、もう何年も前から調整をしています。併せて、スキー場もほとんどの施設が40年～50年以上経過していますので、辛い時期ではありますけれども、何とか見直しをしなければならぬ時期に差しかかっていると思います。アカデミーの話も、もし市で構想があるのでしたら、そのお話の中に私たちも入れてほしいと思いますので、よろしくをお願いします。

【参加者E】

私はメガソーラーをぜひ厳しく規制をしてほしいと思っており、鶴間市長を応援していますので、どうぞよろしくお願いします。

また、駅高架事業について、結論から言うと私はA案に賛成です。何年か前に、クルーズ船のお客さんと1度話をする機会があり、その際に「船の滞在時間が非常に短い」と聞きました。朝8時くらいに接岸して午後3時くらいには出港するけれど、その間に遊びに行く場所が無いという話でした。地元の人にはもう駐車場が無料になるような所にしか行かないでしょうから、そういった中で北大通周辺は観光客を含めたウォーカブル最優先で進めるのが良いのではないかと思います。ぜひ、歩道を拡張して憩いの場にしてほしいです。

最後に、別件ですが、釧路市の図書館で借りた本を阿寒湖の役場でも返却できるように整備してほしいので、どうぞよろしくお願いします。

【阿寒教育事務所長】

図書館で借りた本は今でも阿寒湖温泉支所で返却できますので、ご活用いただければと思います。

【都心部まちづくり担当部長】

今、ウォーカブルというお話がありました。これまでの計画は、都心部に用事が無い通過交通の車は環状通りに迂回してもらって、中心部は人と公共交通を

基本とした居心地の良い空間をつくるという発想です。その中で、北大通の車道を狭めて歩道を広げるようなまちづくりというのは多分これまでも聞かれてると思います。今回、L字か直線かという案を出しており、駅前広場の大きさは若干変わりますが、北大通をウォークアブルにするというコンセプトはそのまま残していますので、前の計画から継続して進めていきたいと考えています。

市民の皆さんからは「道路の形ももちろん重要だけれども、とにかく早くやってほしい」というご意見をたくさんいただいていますので、少しでも先に進めるように、早く決められるものは早く決めて進めていきます。